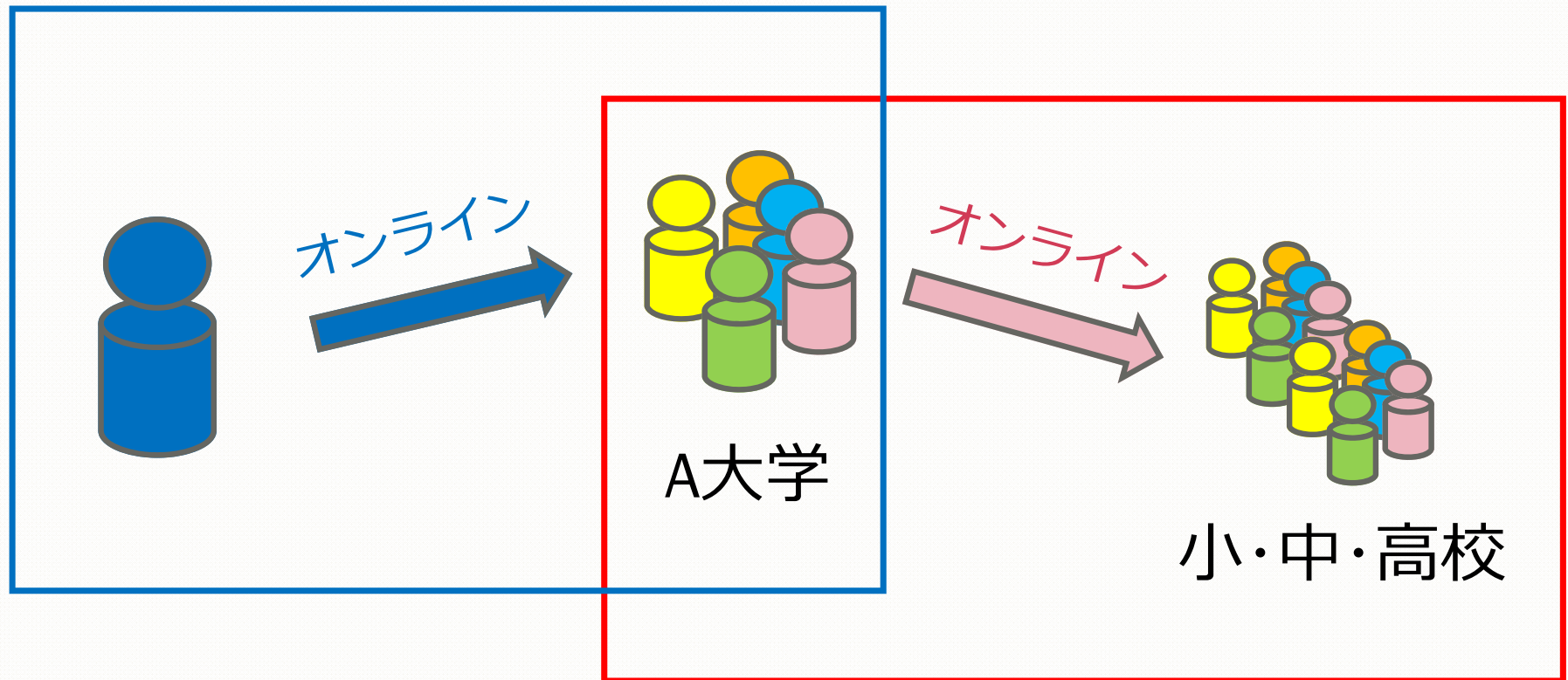


教員養成大学での情報教育に 関するオンライン授業

西野 和典
(太成学院大学)

A教員養成大学大学院での授業



科目名：

「情報のモラル教育と学校のセキュリティ」

受講者21人（現職＋学生）

非常勤：集中講義（3日間）

<昨年度まで> 大学で対面

<今年度> オンライン

1日目 同時双方向

2日目 同時双方向

：（少し間を空けて）

3日目 オンデマンド

（目的）

- 情報モラル教育
（セキュリティを含む）
を行う授業力
- 学校のセキュリティ
に対する理解

1日目（8月30日）

資料配布（LiveCampus） + 同時双方向授業（Teams）

《第1週》 情報・メディアの特性と情報モラルについて

《第2週》 個人情報の保護について

《第3週》 知的財産の保護について

《第4週》 インターネットと生活の変化について

《第5週》 インターネットと経済・教育の変化について

2日目（8月31日）

資料配布（LiveCampus） + 同時双方向授業（Teams）

《第6週》 コミュニケーションの変化について

《第7週》 情報モラルと法規制について

《第8週》 個人のセキュリティについて

《第9週》 学校のセキュリティについて

《第10週》 子どもたちの発達に応じた
情報モラル教育について

3日目（9月22日（祝日））：オンデマンド

《第11週》情報モラル及びセキュリティの問題事象
及びその対策について

《第12週》情報モラル教育の授業設計について

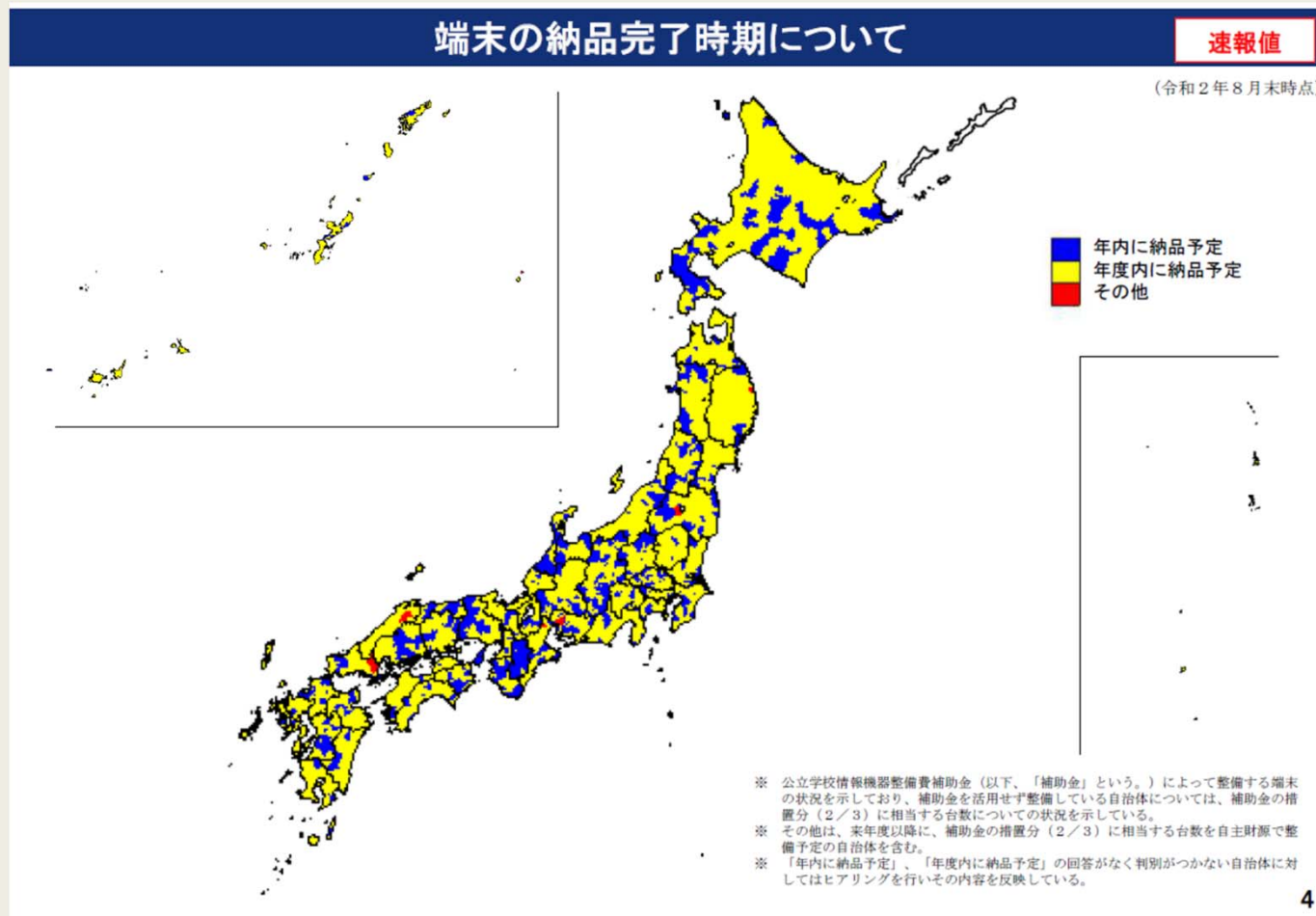
《第13週》情報モラル教育の教材作成について

《第14週》情報モラル教育の実践について
（マイクロティーチング1（実施））

《第15週》情報モラル教育の実践について
（マイクロティーチング2（評価））

GIGAスクール構想

児童生徒 1 人 1 台のコンピュータほか



コロナ禍の中で、
整備が加速

文部科学省：
「GIGAスクール構想の実現に向けた調達等に関する状況（8月末時点）について（速報値）」p.4、
https://www.mext.go.jp/content/20201028-mxt_jogai01-000009827_002.pdf

「児童生徒1人1台コンピュータ」の実現を見据えた施策パッケージ

＜ハード＞ ICT環境整備の抜本的充実

- 児童生徒1人1台コンピュータを実現（1台当たり4.5万円を補助。令和5年度までに、小中全学年で達成）
- 高速大容量の通信ネットワーク（令和2年度までに、全ての小・中・高校・特別支援学校等で校内ネットワークを完備（1/2補助））
- 全国の自治体や学校が、より容易に、より効率的・効果的な調達ができるよう支援（モデル仕様書を提示、都道府県レベルでの共同調達の推進、調達説明会の開催）

誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びの実現に向け、
来年1月、全国の首長・教育長等を対象とした「学校ICT活用フォーラム」を開催し、
ハード・ソフト・指導体制一体で、全国各地での取組を加速化
民間企業等からの支援・協力による、ハード・ソフト・指導体制の更なる充実

＜ソフト＞ デジタルならではの学びの充実

- デジタル教科書・教材など良質なデジタルコンテンツの活用を促進（来年度から順次全面実施となる新学習指導要領とセットで）
- 各教科等ごとに、ICTを効果的に活用した学習活動の例を提示（「教育の情報化に関する手引」を公表・周知）
- AIドリルなど先端技術を活用した実証を充実（来年度中に「先端技術利活用ガイドライン」を策定）

＜指導体制＞ 日常的にICTを活用できる体制

- （独）教職員支援機構による、各地域の指導者養成研修の実施（来年1月に実施）
- ICT活用教育アドバイザーによる、各都道府県での説明会・ワークショップの開催（来年度から全都道府県に配置）
- ICT支援員など、企業等の多様な外部人材の活用促進（令和4年度までに、ICT支援員は4校に1人程度配置）

今後の主な 検討課題

- ✓ 教師の在り方や果たすべき役割、指導体制の在り方、ICT活用指導力の向上方策（今年度中を目途に方向性）
- ✓ 先端技術の活用等を踏まえた年間授業時数や標準的な授業時間等の在り方、学年を超えた学び（早急に検討）
- ✓ デジタル教科書の今後の在り方（来年度中を目途に方向性）

文部科学省：「児童生徒1人1台コンピュータ」の実現を見据えた施策パッケージ、
https://www.mext.go.jp/content/20200219-mxt_jogai02-000003278_301.pdf

オンデマンドでの授業ができるように

オンライン教育への対応

1. 授業設計—教室で対面
 - 同時双方向（オンライン）
 - オンデマンド（オンライン）
2. 授業教材—教科書、プリントほか（印刷物）
 - デジタル教科書・教材
 - オンデマンドデジタル教科書・教材
3. 授業環境—オンライン授業の実施

模擬授業の実施

情報モラルの模擬授業（2コマ）

＜昨年度＞ 対面（21人→3人×7グループで実施、
1グループ20分程度）

＜今年度＞ オンデマンドに対応した授業

1人で1つ自学自習用デジタル動画教材

（例）音声付PPT、画面キャプチャ、
授業撮影録画

「Teams」にアップ（指導案＋動画教材）



受講者全員が共有（→相互評価）

まとめ

- コロナ禍で学校教育の情報化が加速
- 教員養成大学での情報教育のオンライン授業
- 情報教育ができる授業力
+ オンライン授業ができる授業力
- オンデマンド授業での模擬授業の工夫